

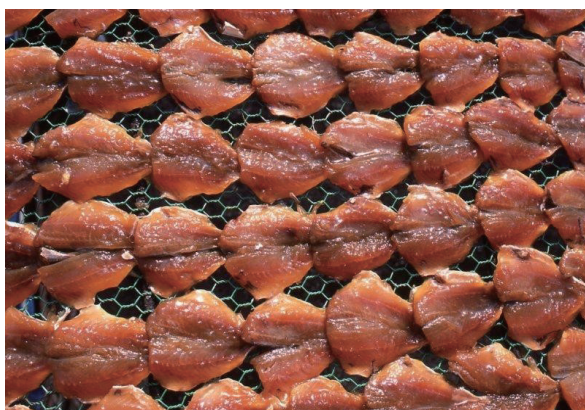
本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

サイエンスカフェ『HIMONO～その多様性と幾何学美～』を開催

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2018年3月17日(土)に、干物をテーマとしたサイエンスカフェ「HIMONO～その多様性と幾何学美～」を開催し、これに参加する小学生以上20名様を募集いたします。



均等に配置され幾何学的に美しく並ぶ干物たち。写真提供:新野大氏

干物は、古くからの食文化として、日本のみならずアジアやアフリカ、ヨーロッパなど、世界各国で親しまれています。アジやイワシなどの小型魚類だけでなく、サメやシイラなどの大型魚類、さらにはエビやイカ、タコといった多くの水産物が干物として利用され、その種類や製法は実に多彩です。また三角形やひし形などに開られた干物が連続して並ぶ光景は、幾何学的な美しさを感じさせ、食品の範疇を超えた魅力があります。

今回のサイエンスカフェでは、アラスカやカナダ、カリブ海、オーストラリア、東南アジアなど世界中の海に潜り、魚やクジラ、アザラシなど様々な生きものたちの写真を撮り続ける傍ら、各国のユニークな干物と干物のある風景を独自の視点でカメラに収め、執筆活動を行う海洋生物研究家の新野大氏を講師にお招きします。新野氏とニフレル館長の小畑洋による、干物のもつ幾何学的な美しさ、種類や製法の多様性についてのお話のほか、世界最小の干物とも言われるチリメンジャコを観察し、混在している様々な生きものたちを発見していただき、そのユニークな姿を顕微鏡で観察していただきます。



【開催スケジュール】

- 10:05～ 受付(館内2階カフェ)
 - 10:15～ 開始。ご挨拶と出演者紹介
 - 10:30～ さまざまな干物と干物のある風景を写真で紹介、干物の魅力に迫ります。
 - 11:00～ チリメンジャコと混在する生きものの観察
 - 11:15 終了(予定)
- ※スケジュールは変更する場合があります。

お問い合わせ：NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

【『HIMONO～その多様性と幾何学美～』募集要項】

《開催日時》2018年3月17日(土) 10:15～11:15(予定)

《場 所》ニフレル2階カフェ「イート イート イート」

《対 象》小学生以上、合計20名。 ※小・中学生の参加には18歳以上の保護者の同伴が必要

《料 金》500円(ニフレル入館料が別途必要) ※1ドリンク付き

《応募方法》下記の①～③を明記のうえ、下記の専用アドレスにお申込みください。

専用アドレス nifrel_sc@nifrel.jp

①代表者の氏名、年齢

②代表者の住所、メールアドレス、携帯電話番号

③同伴者の氏名、年齢(同伴者1名までご応募いただけます。)

※個人情報とは本イベントに関わる目的にのみ使用いたします。

《締め切り》2018年3月11日(日)着信有効

《当選発表》応募者多数の場合は厳正なる抽選を行い、3月12日(月)に当選者にのみメールでご連絡します。

《お問合せ》NIFREL事務局 0570-022060(ナビダイヤル)

■出演者紹介



新野 大(にいの だい)

DAE生物研究所代表。海洋生物研究者。

東海大学卒業後、新潟県瀬波水族館に就職、その後青森県宮浅虫水族館での勤務を経て、大阪・海遊館に開業準備から関わり、飼育設備の検討、生物の収集・蓄養などを行う。2005年9月に独立、各地の水族館のプロデュースに関わる一方、ABC「探偵!ナイトスクープ」やYTV「大阪ほんわかテレビ」など、多数のメディアにも出演し積極的に活動中。主な著書に「水族館のひみつ図鑑」PHP研究所、「水族館のひみつ」PHP研究所、「干物のある風景」東方出版など。



小畑 洋 (おばた ひろし)

生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」館長

大阪・海遊館の開業当初より飼育担当として勤務し、国内では類を見ないジンベエザメの陸上長距離輸送や、希少なイトマキエイの飼育展示にも世界で初めて成功する。海遊館最大のリニューアル「新体感エリア」及び「生きているミュージアム“ニフレル”」建設の中心人物となって構想・監修を行う。2015年4月にニフレル館長に就任。空間展示をはじめアートの要素を取り入れ、水族館や動物園、美術館のジャンルを超えたこれまでにない新しい施設のリーダーとして、多数のメディアから注目される。

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生 1,900円、小・中学生 1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY 全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

※ 公式ホームページ	http://www.nifrel.jp
※ ツイッター	http://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	http://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL